

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月30日現在

機関番号：32665

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22530427

研究課題名（和文） 多国籍展開企業グループのマネジメントに関する取引費用を軸にした経済・経営学的分析

研究課題名（英文） Research on management of multinational firm groups: economic and business perspectives on transaction cost approach.

研究代表者

西脇 暢子 (Nishiwaki Nobuko)

日本大学・経済学部・准教授

研究者番号：50315743

研究成果の概要（和文）：

主な成果は次の2点である。第1に、組織内取引が国際貿易および国際分業に及ぼす影響を経済学的観点から分析し、輸出と規格化が及ぼす効果について主要経済理論をふまえてモデル化を試みた。第2に、日系の多国籍企業グループを対象に、代表的な取引費用の一つと考えられる組織内マネジメントの阻害要因について、グループ企業マネジメントについての聞き取りと現地従業員を対象にしたアンケート調査を行った。調査の結果、本社が支社に与える影響力は現地法人のタイプによって異なること、本社の影響力の強さと関連のある諸変数が現地採用従業員のパフォーマンスに影響することを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：

The major outcomes of this research are: (1) analyzing how multinational firms' in-group trade gives effects on international trade and international division of labor, (2) conducting some questionnaires and surveys on Japanese branch office located in Vietnam and their local workers. First outcome has made for an economic model on the relationship between trade and standardization. Several findings had come from the second outcomes. For example, management style of branch office is related to the HQ' s power and its management, several factors depending on the relationships between HQ and branch offices have influence on local workers' job performance.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：国際貿易・国際人材マネジメント

1. 研究開始当初の背景

取引費用をめぐるテーマは伝統的に経済学と経営学それぞれの領域で独立的に行われてきたが、両者を融合したアプローチはほぼ皆無であった。本研究は大規模多国籍企業におけるグループ内マネジメントについて、取引費用の観点からアプローチした。

2. 研究の目的

企業グループマネジメント研究の経済学と経営学の融合およびその際に生じる様々な課題のあぶり出し。

3. 研究の方法

経済学的観点からは、モデル構築を含めて主に理論面からアプローチした。経営学的観点からは、聞き取りやアンケート調査を中心に実証面からアプローチした。調査対象は日系企業のベトナム現地駐在事務所およびその本社である。聞き取りは製造業とサービス業に属する4社に対して行った。アンケート調査は日系駐在事務所に勤務するベトナム人への直接的に聞き取りをする形で行った。回収データは約300、対象企業は約100社である。

4. 研究成果

輸出と規格化が及ぼす効果に関する経済学的モデル（試案）の導出、企業グループマネジメントの現状と課題について主に現地従業員のマネジメントに焦点を当てて明らか

にしたことである。

前者の経済学的分析では、国際規格化の分析を遂行するために必要不可欠である国際規格と貿易財分類（HS）との対照表作成を作成した。まず、国際規格分類コードであるICS(International Classification for Standards)とHS(Harmonized System)との独自の対照表の作成を終え、この対照表に基づいて、国際規格の発行が各国の輸入および輸出にどのような影響を及ぼしているのかに関して計量的に分析を行った。この研究成果を日本貿易学会、日本国際経済学会等で口頭報告を行い、その一部を日本大学経済学部中国・アジア研究センターのWorking Paperとして公開している。

この分析において、独自の国際規格の対照表や国際商品市場の商品定義に基づき、国際的に貿易取引されている財のタイプをOrganized market（組織化市場取引）財、Standardized（規格化）財、Differentiated(差別化)財に3分類している。Rauchの先行研究も同様な財のタイプに分類しているが、本研究とは財タイプの定義が異なる。そして、本研究ではRauchと同じ2000年の貿易データを用いて、財タイプ別に貿易パターンに違いがあるかを実証的に分析している。その分析結果として、差別化財は貿易パートナー間の距離が遠くても特定の輸出先から輸入しているが、同質財である組織化市場取引財は可能な限り近隣の輸出先から輸入するという結果を得ている。これに

対して、規格化財はそれらの中間的な結果となっている。

これらの結果は、本研究の分析モデルが期待する結果となっており、国際規格は貿易機会を創出しているといえる。これは、国際規格が貿易取引に係る取引費用の一部を削減する効果があることを示している。

後者の企業グループマネジメントの現状と課題については、まずパイロット調査を通じて次の点を明らかにした。

(1) 他の外資系企業との間で年々人材獲得競争が激しくなっており、組織内マネジメントの中でも特に現地人従業員の採用とリテンションが重要な課題になっている。

(2) 人材獲得競争は業種によって偏りがある。製造業、建設業では企業間で従業員の引き抜きが恒常化しており、賃金が人材獲得と維持に対して有効である。一方、サービス業（航空輸送）では人材獲得競争はそれほど深刻ではない。人材獲得と維持に影響するのは、賃金よりもむしろ雇用の安定性の確保と職場内環境（対人関係）である。

以上の調査結果をふまえて、現地従業員を対象に、組織内環境に影響を与えると思われる要因を中心にアンケート調査を行った。主な発見事項は次の通りである。

(1) 駐在事務所における日本人リーダーの知覚される権限の強さが従業員のパフォーマンスや離職の意志決定に影響を与える。

(2) 職場の人間関係（日本人同僚との関係）は従業員のパフォーマンスや離職の意志決定に影響を与える。

(3) 日本企業において比較的一般的に行われているマネジメントスタイル（上司への業務報告、文書作成）は現地人従業員のパフォ

ーマンスに負の影響を与える傾向がある。

(4) 上司のリーダーシップに対する評価は、従業員の職位によって異なる。

以上の発見事項については 2013 年度労務学会全国大会で発表するとともに、学術論文にまとめた上で国内外のジャーナルに投稿する予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 2 件）

(1) 米澤聡士「外国人非正規従業員のリテンション・マネジメントー外航海運業の視点から」国際ビジネス研究 第 4 巻第 2 号 査読無 2012, 133-149.

(2) 井尻直彦「日本の輸出における輸送モード選択」経済集志 第 82 巻 3 号, 査読無 2012, 77-94.

〔学会発表〕（計 5 件）

(1) 西脇暢子「日系企業ベトナム駐在事務所における現地採用外国人従業員の HRM」日本労務学会第 43 回全国大会 2013 年 07 月 07 日

(2) Nobuko Nishiwaki “Linkages Between Inter- and Intra-organizational Careers” Research Conference, D’Amore-McKim School of Business, Northeastern University, Feb. 20, 2013.

(3) 米澤聡士「企業内教育・訓練と非正規従業員のグローバル統合ー外航海運業の観点

から」日本貿易学会第 52 回全国大会 2012
年 05 月 20 日

(4) 井尻直彦 「国際貿易における国際規格の
役割」日本貿易学会第 52 回全国大会 2012
年 05 月 20 日

(5) Naohiko Ijiri “ The Role of
International Standards in Global Trade
Network” GEP Conference, Nottingham
University, Oct. 30, 2012.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西脇暢子 (Nishiwaki Nobuko)

日本大学・経済学部・准教授

研究者番号：50315743

(2) 研究分担者

米澤聡士 (Yonezawa Satoshi)

日本大学・経済学部・教授

研究者番号：50298204

井尻直彦 (Ijiri Naohiko)

日本大学・経済学部・准教授

研究者番号：50320990